

「学校における業務改善」

「いちき串木野市立市来中学校」の実践

効果が期待される取組

- ・ 業務改善に係る職員研修の実施（ワールドカフェ形式）

実施前の課題

- ・ 管理職及び行政主体の業務改善策の提案や取組内容などが多く、職員自ら考えた改善策がとても少ない。そのため自分たちで業務を改善していこうという意識の向上につながりにくい。



実施後の成果

- ・ 職員自身に多忙感がある業務内容やその改善策などを話し合い、共有することで主体的な取組につながる。また、話し合われた可能な業務改善を実施することで業務改善への意識の向上につながると考える。

業務改善を目指した取組の詳細

- 定時退庁日
 - ・ 平成 30 年度～令和元年度は月 1 回（最終木曜日）実施していたが、定着が図られてきたことから今年度から月 2 回に増やした。
- 部活動の週休 2 日の継続と新たな改善策
 - ・ 令和 2 年度から 1 部活動に 2 人（正副顧問）が配置できたことから平日 4 日のうち 1 日は副顧問が指導する日を設定した。
- 業務改善に係る職員研修の実施（ワールドカフェ形式）
 - ・ 部活動、専門外・免許外の教科指導、See - Smile の活用、通信等の業務などが課題として挙げられ、職員間で協議した。早速、生徒指導委員会で話し合われた内容を従来の紙媒体からパソコンによる報告とした。
- 給食時間の延長（校時表の見直し）
 - ・ 昨年度まで給食時間が後片付けまで含めて 30 分であったが、30 分 + 5 分（後片付け）とすることで、休憩時間の確保につながった。併せて、校時表を見直すことで増やした「5 分」が放課後の活動へ影響を及ぼさないようにできた。
- 定期テスト時の部活動停止期間の延長
 - ・ 中間・期末テスト（年 4 回）前の部活動停止期間を延長し、さらに、テスト最終日も採点業務や個別指導等の時間に充てることから部活動停止日とした。



今後の課題、計画

- 現在実施している業務改善を拡張させたり、職員からの意見等を吸い上げたりすることを継続し、職員が働きやすく、充実した職場と感じられるように取り組みたい。